

免疫病学

責任者・コーディネーター	内科学講座（呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野） 山内 広平 教授		
担当講座・学科（分野）	内科学講座（呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野）、内科学講座（血液・腫瘍内科分野）、臨床検査医学講座、病理学講座（先進機能病理学分野）、小児科学講座、皮膚科学講座、内科学講座（神経内科・老年科分野）		
担当教員	小林 仁 准教授、石田 陽治 教授、佐々木 信人 助教、小笠原 理恵 助教、山内 広平 教授、菅野 祐幸 非常勤講師、遠藤 幹也 准教授、高橋 和宏 准教授、水野 昌宣 助教		
対象学年	3	区分・時間数	講義 24時間
期間	後期		

・学習方針（講義概要等）

生体において自己と非自己の区別は種々の免疫細胞の個々の機能と細胞間の相互応答に基づいて行われ、Tリンパ球受容体をはじめとして多くの分子がかかわっている。
異物の認識機序から特異抗体産生システム及びT細胞機能についての基本的な理解を基に、種々のアレルギー免疫病態を理解する。

・一般目標（GIO）

個々のアレルギー・免疫疾患について、症状、身体所見、検査所見、病態、治療について学び、多角的な診断学的アプローチを身につける。

・到達目標（SBO）

1. 基礎的な免疫のしくみについて説明することができる。
2. 膠原病の診断法について説明することができる。
3. 膠原病の病態を理解し説明することができる。
4. 免疫機能検査について説明することができる。
5. 自己免疫疾患の病理所見について説明することができる。
6. 小児アレルギー免疫疾患について説明することができる。
7. 免疫不全症候群について説明することができる。
8. 膠原病の皮膚病変について説明することができる。
9. 免疫疾患に伴う神経徴候について説明することができる。

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
11/13	火	3	呼・アレ・膠原病内科分野	小林 仁 准教授	臨床免疫学における基礎1
11/13	火	4	呼・アレ・膠原病内科分野	小林 仁 准教授	臨床免疫学における基礎2 (含アナフィラキシー)
11/20	火	3	血液・腫瘍内科分野	石田 陽治 教授	免疫不全症候群
11/20	火	4	臨床検査医学講座	小笠原 理恵 助教	免疫機能性検査 (液性免疫・細胞性免疫)
11/27	火	3	神経内科・老年科分野	水野 昌宣 助教	免疫疾患に伴う神経徴候
11/27	火	4	呼・アレ・膠原病内科分野	小林 仁 准教授	膠原病1 (SLE)
12/4	火	3	呼・アレ・膠原病内科分野	佐々木 信人 助教	膠原病2 (結節性多発動脈炎、Sjogren 症候群、ベーチェット病)
12/4	火	4	呼・アレ・膠原病内科分野	佐々木 信人 助教	ANCA 関連血管炎 (顕微鏡的多発動脈炎、アレルギー性肉芽腫性血管炎、Wegener 肉芽腫症)
12/11	火	3	先進機能病理学分野	菅野 祐幸 非常勤講師	免疫病の病理
12/11	火	4	呼・アレ・膠原病内科分野	小林 仁 准教授	膠原病3 (多発性筋炎、強皮症、MCTD、Overlap 症候群)
12/18	火	3	小児科学講座	遠藤 幹也 准教授	原発性免疫不全
12/18	火	4	小児科学講座	遠藤 幹也 准教授	小児の膠原病、リウマチ熱
12/25	火	3	皮膚科学講座	高橋 和宏 准教授	膠原病 (SLE・皮膚筋炎・強皮症・MCTD) の皮膚病変 乾癬膿疱性疾患
12/25	火	4	皮膚科学講座	高橋 和宏 准教授	自己免疫性水疱症、接触アレルギー、アトピー性皮膚炎 (小児を含む)
1/8	火	3	呼・アレ・膠原病内科分野	佐々木 信人 助教	膠原病4 (関節リウマチ)
1/8	火	4	呼・アレ・膠原病内科分野	小林 仁 准教授	免疫病の鑑別診断・まとめ

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	新臨床内科学 9版	貫和敏博 他編	医学書院	2009
教	内科学 2版 2分冊	黒川清、松澤佑次 編	文光堂	2003
教	標準小児科学 7版	内山聖 他編集	医学書院	2009
教	標準皮膚科学 9版	滝川雅浩 他編	医学書院	2010
推	レジデントのためのアレルギー疾患診療マニュアル	岡田正人 編	医学書院	2006

・成績評価方法

<p>1. 小試験 各授業毎に小試験を行う。これにより出欠の確認を行うと共に、自宅学習の達成度、授業の理解度をチェックする。また、進級判定時の評価に加える。</p> <p>2. 進級試験の評価法・出題範囲 大学の規定にあるごとく、授業の出席が2/3以上に満たない場合は進級試験を受ける資格を失う。原則として60%以上の得点率を合格とする。但し、正答率が20%以下の難問については、合計点からはずすことがある。追試は原則行わない。出題範囲は講義テキストと教科書・参考書・推薦図書全て。</p> <p>3. 講義に関する質問や相談 呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野は小林講師、血液・腫瘍内科分野は石田教授、神経内科・老年科分野は深浦講師、小児科学講座は遠藤准教授、皮膚科学講座は高橋准教授、臨床検査医学講座は小笠原助教、先進機能病理学分野は菅野准教授が窓口。在室時には時間があればいつでも受け付けるが、待たされないためにも来訪直前に電話（内線）などで確認すること。</p>

・特記事項・その他

<p>1. 呼吸器・アレルギー膠原病内科分野：アレルギー疾患、膠原病</p> <p>2. 血液・腫瘍内科分野：免疫不全症</p> <p>3. 神経内科・老年科分野：免疫疾患に伴う神経徴候</p> <p>4. 小児科学講座：小児の免疫疾患、小児の膠原病、小児のアレルギー疾患</p> <p>5. 皮膚科学講座：皮膚の免疫機構と皮膚病、皮膚科からみた膠原病</p> <p>6. 臨床検査医学講座：免疫機能検査</p> <p>7. 先進機能病理学分野：膠原病の病理</p> <p>講義に関する注意事項 授業で映写等により教示する画像、資料をカメラ・ビデオ撮影などにより記録する場合は、事前に担当教官の承諾を得てから行うこと。</p>

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	顕微鏡デジタルカメラ DP70 (OLYMPUS)	1	組織標本をデジタル画像に取り込み検討会で拡大提示する。
講義	NOx アナライザー-CLM-5000	1	NO 産生による肺、気道の炎症状態を測定する。